

お客さまの安全・安心を守る

Osaka Metroでは、人と設備の両面からお客さまの安全・安心を守っています。

全駅への可動式ホーム柵設置を更に推進

お客さまの線路への転落を防ぐための可動式ホーム柵を設けており、引き続き整備拡充に努めています。

現在は、御堂筋線の心齋橋駅、天王寺駅、谷町線の東梅田駅、堺筋線の堺筋本町駅、千日前線、長堀鶴見緑地線、今里筋線、南港ポートタウン線の全駅にて設置が完了しています。

また、2021年度設置完了予定の御堂筋線においては、2020年11月設置予定のなかもず駅を皮切りに、順次設置してまいります。

可動式ホーム柵の整備スケジュール

御堂筋線	全20駅で、2021年度までに完了 (心齋橋駅・天王寺駅には既に設置済み)
谷町線	全26駅で、2025年度までに完了 (東梅田駅には既に設置済み)
四つ橋線	全11駅で、2024年度までに完了
中央線	全14駅で、2024年度までに完了
堺筋線	全10駅で、2022年度までに完了 (堺筋本町駅には既に設置済み)
千日前線	全14駅
長堀鶴見緑地線	全17駅
今里筋線	全11駅
南港 ポートタウン線	全10駅

全駅で既に設置済



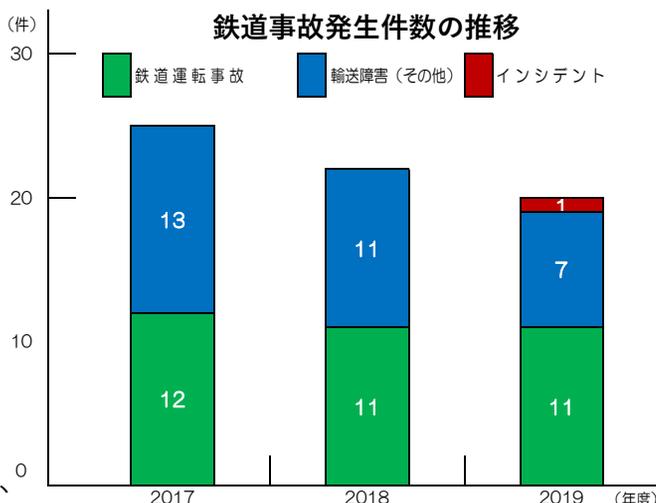
2019年度の鉄道事故等の発生状況

2019年度には鉄道事故等が19件発生しました。

その内訳は、

- ・鉄道運転事故が11件
- ・輸送障害が3件とその他が4件の計7件
- ・インシデント（点検で発見した台車亀裂、P27参照）が1件でした。

鉄道事故等の原因は様々ですが、お客さまに安心してご利用いただけるよう、一つひとつの事象について原因を究明し、対策を立て、再発防止に取り組んでまいります。



電車の安全対策



① 非常通報装置

車内での異常を乗務員に知らせるための装置で、各車両の前後（ニュートラムは各乗降扉横）に設置しています。



② 転落防止装置

お客さまが電車の連結部から線路に転落するのを防ぐための設備です。



③ 消火器

車両の火災等に備え、各車両に消火器を1個設置しています。



④ 車椅子（ベビーカー）スペース

車椅子やベビーカーをご利用のお客さまに安心してご利用いただくスペースで、固定用の金具付きロープを設けています。



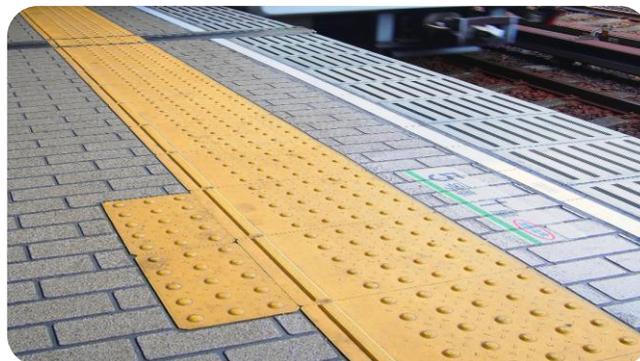
⑤ 非常はしご

駅間に電車が停止して、その後の運転ができなくなった時に電車の先頭部から線路に降りていただくための設備です。（弊社では線路のほとんどがトンネル構造のため、電車の先頭からの避難を原則としています。避難の際には乗務員・駅社員の指示に従って頂きますようお願い致します。）



お客さまの安全・安心を守る

駅の安全対策



① 非常停止合図装置

お客さまが線路に転落したときなどに、電車を直ちに停止させるための設備を設けています。

② 内方線付き点状ブロック

ホームの内側に線状の突起を設け、ホームの安全側を表示した点状ブロックを設置しています。



③ 防煙垂壁・防火シャッター

ホームでの火災発生時に煙の流動を防ぎ、お客さまの避難経路を確保するための設備です。



④ 防災盤・火災報知器・消火栓

駅内の防災設備等を集中管理するために、駅長室内に防災盤を設置しています。火災の発生を駅長室に自動的に通報する感知器と消火に使う消火栓及び消火器を駅構内各所に設置しています。



⑤ 誘導灯

誘導灯には①避難口誘導灯と②通路誘導灯があります。③フラッシュライトが併設されているものもあり、フラッシュライトが点滅し、お客さまが駅構内から安全な場所へ避難しやすくなっています。



⑥ IP無線での迅速な情報連携

2017年度よりIP無線機・インカムを導入しています。

2018年12月には全駅長室・全改札口に配備完了しました。これにより、複雑な地下空間での迅速な連絡体制を整え、お客さまサポート及び見守り体制を強化しています。



⑦ 防犯カメラの設置（駅構内・車内）

安心して地下鉄・ニュートラムをご利用していただくため、駅構内に3,063台、車内に80台、計3,143台の防犯カメラを設置しています。（2019年度末時点）



⑧ ゴミ箱の透明化

テロに対する抑止力を高めるため、全ての駅のゴミ箱を透明化にし、改札口付近に設置しています。



⑨ ホームベンチ

お客さまがベンチから立ち上がった際、そのまま直進し、軌道へ転落するのを防ぐため、ベンチの設置向きを順次変更しています。



⑩ AED（自動体外式除細動器）の設置

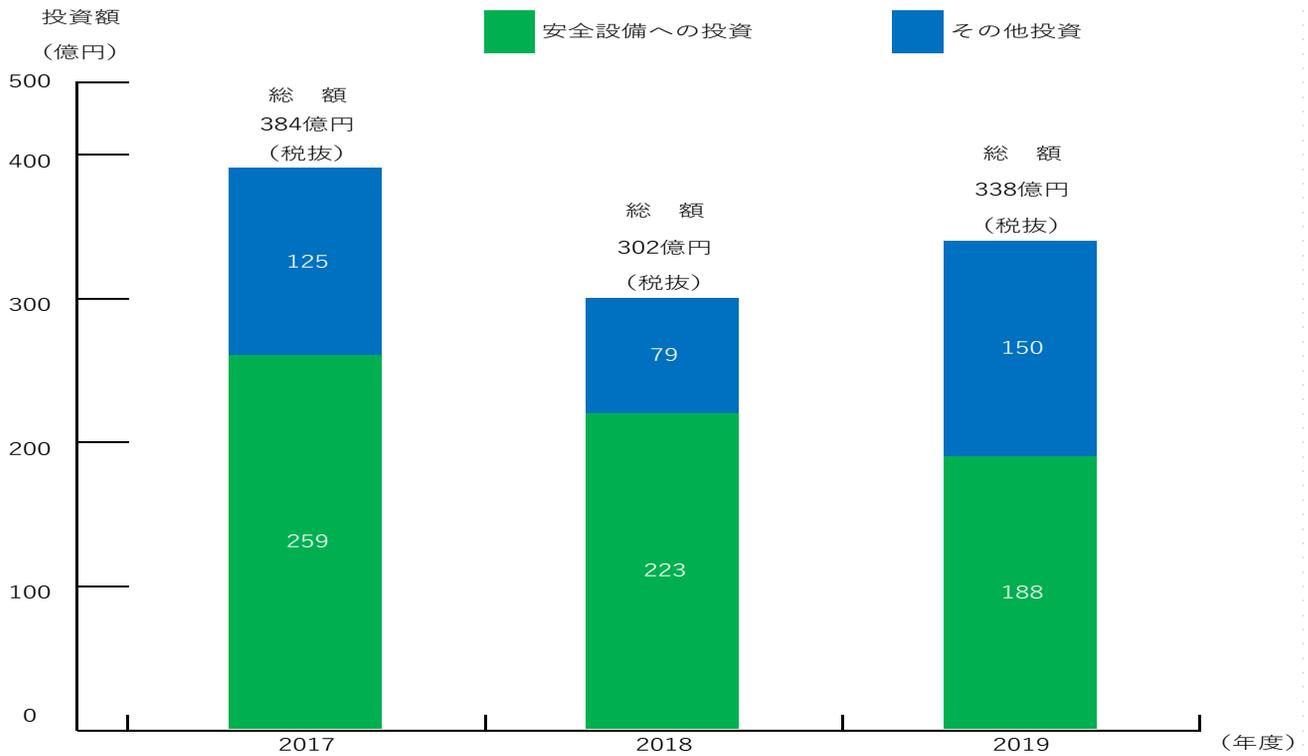
地下鉄をご利用いただくお客さまの救命率向上を図るため、Osaka Metro全駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。

お客さまの安全・安心を守る

施設の安全対策

弊社においては以下のとおり、計画的に老朽設備取替、保安・防災対策、安定輸送対策等、安全設備への投資を実施しています。2019年度は、津波浸水対策等の収束や設備更新時期のバラツキにより投資額は減少していますが、必要な安全投資は着実に実施しています。

安全設備への投資及びその他投資の推移（過去3年間）



Osaka Metro 安全設備の内訳

老朽設備取替	信号・電力・変電設備更新、車両検修施設機器更新、駅施設老朽更新等
保安・防災対策	可動式ホーム柵設置、火災対策、地上建物耐震補強、高架・地下構造物改良、ホーム天井落下対策等
安定輸送対策	軌道改良、運行管理システム更新
車両その他	車両更新、車両ATC装置更新、運転状況記録装置設置、地上建物外壁改修等
その他の設備投資	居室改造、駅務機器更新、駅冷房設備機器更新、EV・ES設置、多機能トイレ設置等

| G20大阪サミット開催中の取組み

2019年6月28日(金)～29日(土)にインテックス大阪にて開催されたG20大阪サミット期間中の安全を確保するため、Osaka Metroとして巡回警備の実施、警察官及び警備犬の立哨警備など各種警戒警備の取組みを行いました。ゴミ箱、コインロッカーの使用停止や会場最寄り駅の閉鎖など、ご不便をお掛けしましたが、お客さまのご理解とご協力を賜り、無事に終えることができました。



石田大阪府警察本部長（当時）による感謝状の贈呈



巡回警備説明会



本社管理職による重点警戒駅等の巡回警備



警察官及び警備犬の立哨警戒



本社対策本部の設置

お客さまの安全・安心を守る

新型コロナウイルス感染防止対策

駅構内や車内の感染防止対策

- ① 次の各施設にお客さま用のアルコール消毒液を設置
 - ・全駅の改札口（237箇所）、お忘れものセンター、Osaka Metro案内カウンター（3箇所）、定期券発売所（14箇所）
- ② 次の各施設の消毒作業を毎日実施
 - ・駅（133駅）、車内（1,364両※）、お忘れものセンター、Osaka Metro案内カウンター（3箇所）、定期券発売所（14箇所）
 - ※保有車両の内、入庫車両に対し車内消毒を実施
- ③ 啓発放送を実施（駅・地下鉄車内）
 - ・テレワークや時差通勤へのご協力
 - ・手洗い、うがい、アルコール消毒、咳エチケット、マスクの着用、車内での会話を控えていただく等の感染予防対策へのご協力
- ④ 地下鉄での感染拡大防止対策
 - ・全路線（ニュートラムを除く）で、換気のため1車両につき両端2か所の窓を開けて運行
 - ・駅トイレに設置しているハンドドライヤー（ジェットタオル）の使用を停止
 - ・定期券発売所の対策
 - ア、通路床面に待機位置を表示し、お客さま同士の間隔を十分に取ってお並びいただけるようご案内
 - イ、梅田、なんば、天王寺のPiTaPaカウンター窓口に透明のシートを設置
 - ・駅改札口の窓口に透明のシートを設置
- ⑤ 社員の感染防止対策
 - ・うがい、手洗い、咳エチケットの励行、マスクの適切な着用
 - ・本社・各事業所へ手指消毒用アルコール設置
 - ・輸送指令所及び電気指令所において空気清浄器を設置
 - ・本社勤務社員の時差出勤及び在宅勤務の実施

車内換気実証実験

2020年7月10日(金)の営業終了後、御堂筋線にて実車を使った車内換気実証実験を実施しました。1車両につき両端2か所の窓を開け、駅到着後の車扉開扉により換気が十分に行えていることが検証実験でわかりました。引き続き、お客さまが安心してご利用いただけるよう更なる感染防止策を講じてまいります。



※Osaka Metro Group の様々な情報をYouTubeで配信する「Metro News」にて、車内換気実証実験の様子を公開しています。（「Metro News」（vol.36）「窓開け換気実験しました！」）